

「あなたしか気付いていないかもそのサイン」

11月は児童虐待防止推進月間です

問い合わせ 子育て政策室 ☎53・3201

記事ID 0040413

保護者がしつこくだと思っても、体罰や暴言で子どもの体や心を傷つけることは虐待です。体罰や暴言で一時的に子どもが従ったとしても、その経験が子どもたちの発育や発達に悪影響を及ぼしてしまいます。子育てで困ったときは、一人で抱え込まずにご相談ください。地域でも子育て家庭を見守り支えていきます。



「ヤングケアラー」ってなあに？

ヤングケアラーとは、大人が担うような責任を負い、ケアが必要な家族のサポートを行っている18歳未満の子どものことだ。

家庭の中で家事などを手伝い、大人たちから認められることは、子どもたちの責任感や自己肯定感を育みます。しかし、手伝いの内容とその手伝いで担う責任が、その子の年齢や成長の度合いに不釣り合いなものである時には、子どもの心身の発達や人間関係、勉強、進路に影響が生じることがあります。

「こんなことありませんか？」

- ・病気や障がいを抱える家族の代わりに、子どもが買い物・料理・掃除・洗濯などの家事を担っている。
- ・家族の代わりに、食事や排せつ、着替え、一緒にお留守番をするなど、幼いきょうだいの世話を担っている。

- ・精神疾患などで情緒不安定な家族の見守りを行い、落ち込んでいる時に元気づけるなど情緒面のサポートを行っている。
- ・介護が必要な家族の着替えや移動、入浴、トイレの介助を行っている。
- ・請求書の支払いなどの家計管理や病院への付き添いを行っている。
- ・家計を支えるためにアルバイトをしている。

子どもたちが、家族を「支えたい」「助けたい」との気持ちで大切にしながら、ケアが子どもにとって過度な負担にならないよう、一緒に考えていきませんか？

家庭児童相談室や児童相談所では、ヤングケアラーをはじめ、子どもに関する相談を受け付けています。

児童相談所相談専用無料ダイヤル「0120・189・783」（いちはやくおなやみ）



児童虐待「心配だな」と思ったら…

- 新潟県新発田児童相談所 ☎0254-26-9131
- 子ども課 家庭児童相談室 ☎53-3201
- 児童相談所全国共通3桁ダイヤル（無料）☎189（いちはやく）

緊急の場合は…

- 村上警察署 ☎110 もしくは 52-0110



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

健康啓発シリーズ④

体にとって脂質は悪者？

問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎53・3364

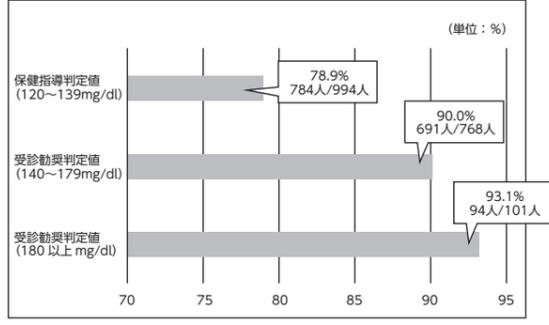
特定健診を受診した人で、脂質に対して悪い印象をお持ちの人が多くいるように感じます。「脂質」とは、「中性脂肪」「LDL（悪玉）コレステロール」「HDL（善玉）コレステロール」などを指します。実際には、力を出す時に使われるエネルギーになったり、ホルモンや細胞膜の材料になったりと、人間の体にとって欠かせない物質です。しかし、脂質が必要量よりも多すぎたり、少なすぎたりすると、本来の働きを果たせなくなり、その状態を「脂質異常症」といいます。

市の現状

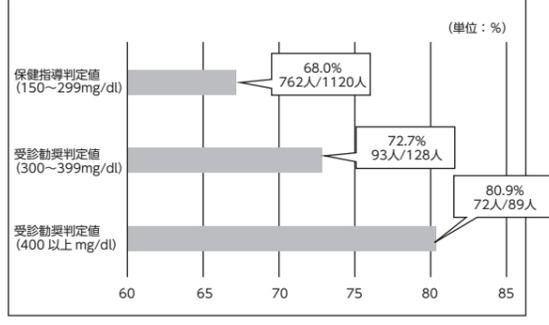
左の表は令和3年度特定健診受診者（4388人）のLDLコレステロールと中性脂肪について、判定値ごとの未治療割合を示したものです。（表1・2）

受診勧奨判定値（受診が望ましい値）であった人のうち、LDLコレステロールは9割の人が、中性脂肪は7割以上の人が未治療となっていました。さらに、より数値が高い人ほど、未治療の割合が増えています。

【表1】LDLコレステロールの未治療割合



【表2】中性脂肪値の未治療割合



国保データベースシステムより

新潟県厚生農業協同組合連合会
村上総合病院 初期臨床研修医
あまの ゆうき
天野 裕貴 先生

村上総合病院の天野先生
にお聞きました！

脂質異常症が及ぼす体への影響

高いLDLコレステロールは、動脈内にコレステロールが蓄積し、動脈壁にプラークを形成する可能性が高まります。これが動脈硬化の始まりであり、血管を詰まらせ血流を妨げるようになり、心臓病や脳卒中のリスクが増大します。また、中性脂肪の過剰な増加も問題であり、糖尿病や膵炎、脂肪肝といった疾患を引き起こす可能性があります。

健診・医療機関受診の勧め

このような健康リスクを早期に発見し、適切な対策を講じるために、医療機関の受診や健診を受ける必要があります。先述の特定健診において、高いLDLコレステロールや中性脂肪、低いHDLコレステロールの数値が見られる人が多いことが示されました。脂質異常症は症状がほとんど現れないため、潜在的なリスクを早期に発見し、適切な対策を講じることが重要です。これらの数値は食事療法や運動、必要に応じて薬物療法といった早期の介入によって改善可能であり、心血管疾患や肝臓疾患などのリスクを軽減し、健康な生活を維持することが期待できます。